

令和4年 7月 4日(月)
国土交通省 関東地方整備局
常陸河川国道事務所

記者発表資料

大学生を対象とした橋梁老朽化対策の現地学習会を開催します。
～技術者を目指す大学生の知識向上を推進します～

常陸河川国道事務所では、国民の貴重な共有資産である道路橋を将来世代へ引き継いでいくため、メンテナンスの必要性を周知する活動を進めております。

はらだ たかお

その一環として、茨城大学工学部都市システム工学科原田隆郎教授にご協力いただき、現地学習会を開催いたします。

これは、将来の技術者として構造物の建設・維持・管理技術を学ぶ茨城大学の学生のみなさんに橋梁の点検・補修を供用中の橋梁で学習していただくものです。

日時: 令和4年7月11日(月) 9:20～(2時間程度)

場所: 国道6号旭高架橋、浜の宮らせん橋 (茨城県日立市旭町)

内容: 損傷状況調査(ハンマーによる打音、ひび割れ測定ほか)、
VRを用いた橋梁点検の疑似体験、補修対策事例紹介

※報道関係者の皆様へ

取材される場合は7月7日(木)17時まで下記の間い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

※一般の方々の現地学習会への参加はできません。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所
TEL: 029-240-4061 (代表)

副所長 高橋 哲 (内線205)

保全対策官 大森 隆 (内線303)

9:20~9:30 (10分) 現場体験内容の説明

9:30~11:30 (120分) 現場体験

※学生のみなさんには4班に分かれて現場体験していただきます。

現場①: 旭高架橋

『点検の体験内容』

○PC箱桁内部

損傷状況調査: ひび割れ、床版ひび割れ、変色・劣化

- ・ひび割れ目視(箱桁内部)
- ・ひび割れ幅や長さの測定(クラックスケール)
- ・ひび割れ補修工法の説明

○A2橋台

損傷状況調査: 胸壁・翼壁のひびわれ

- ・テストハンマーによる強度推定調査
- ・RCLレーダによる鉄筋探査

現場②: 浜の宮らせん橋

『点検の体験内容』

○PC箱桁上部工

損傷状況調査: 地覆部の剥離・鉄筋露出、うき

- ・高所作業車に乗車し打音点検
- ・剥落防止工と表面保護工の施工完了箇所の目視確認

○VR疑似体験

- ・VRを用いた橋梁点検の疑似体験

旭高架橋



現場①

浜の宮らせん橋



現場②

体験内容



①打音点検

コンクリート構造物の表面付近のひび割れ、浮き、はく離を把握する。
コンクリート構造物の表面をハンマーでたたき、発生した音によって状態を把握する。



②ひびわれ目視(箱桁内部)

コンクリート構造物の表面に顕在化したひびわれの発生位置や形態を把握する。
コンクリート構造物のひびわれを目視確認し、ひびわれ幅や長さの計測を行う。



③非破壊調査機器

コンクリート構造物の非破壊調査機器を体験する。
テストハンマーによる強度推定調査およびRCLレーダによる鉄筋探査を行う。



④補修対策事例紹介

剥落防止工と表面保護工の施工完了箇所を紹介する。
足場を昇降し近接で目視確認を行う。



⑤VRを用いた橋梁点検の疑似体験

橋梁点検未経験者がVRを通じて橋梁点検の疑似体験ができる。
VRコンテンツ内の橋梁部材から損傷を見つけ、損傷程度を評価する。

現地学習会開催場所 案内図



出典:「電子国土」<http://portal.cyberjapan.jp/>

